

ヒメヨツバムグラ (姫四つ葉葎)

名前の意味^{いみ}：小さなヨツバムグラの意味。ヨツバは、1ヶ所から4枚葉が出ているようにみえるから。「むぐら」は昔の日本語で、つるに刺^{とげ}があってよじ登る植物につける名前。

分類：双子葉類、アカネ科、ヤエムグラ属

(アカネ科の栽培植物：コーヒーノキ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：1ヶ所から4枚出ているようにみえる葉 (2枚はたく葉)、小さな4弁の花、毛の生えた小さな実が2つずつつく。

種子の運ばれかた：動物の毛皮について運ばれる

花弁の数^{ごうべん}：合弁、4裂^{れつ}

花の時期：5－6月

食べ方：食べない

見分け方：ヤエムグラは大型で、「葉」が8枚以上で、細長い。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)